

希望・勇気・忍耐

第4号 令和4年7月1日 担当: 丹羽 勲

【7月（文月）行事予定】 月訓『努力』

1	金	1学期期末試験⑤	16	土		
2	土	受験対策講座⑤	17	日		
3	日	全商ビジネス文書検定	18	月		
4	月	短縮授業（40分×6・7限）身だしなみ指導	19	火	進路ガイダンス	
5	火		20	水		
6	水	進研記述（進学）	21	木		▼
7	木		22	金	終業式	
8	金		23	土		
9	土		24	日		
10	日		25	月	受験対策講座⑥	
11	月	チャレンジ0週	26	火	受験対策講座⑦	
12	火		27	水	受験対策講座⑧	
13	水	▼	28	木		
14	木	短縮授業（50分×3限）保護者懇談会開始	29	金		
15	金	▼	30	土		
			31	日		

※ 8月17日（水）全校出校日 9月1日（木）始業式

～大切なことは知ることだ！！～

広島平和祈念資料館には右の写真の折り鶴が展示されています。

なぜ、折り鶴が資料館にあるのでしょうか。

当然、単なる折り鶴がここにあるわけがありませんよね。

しかし、置いてある理由を知らなければ、本当に単なる折り鶴です
おそらく感動も何もなく、通り過ぎてしまうことでしょう。そのようなことは日常生活でも多くあると思います。知っていれば
感じることもあり、大げさに言えば人生を豊かにしてくれることでしょう。

ですから、しっかりと文章を読んで、知識を増やしてほしいと私は願います。

これは白血病の診断を受け、亡くなってしまった女の子が

「元気になりたい」という願いをこめて、一生懸命作った折り鶴の一部です。

鶴を千羽折ると病気が治ると信じて・・・。



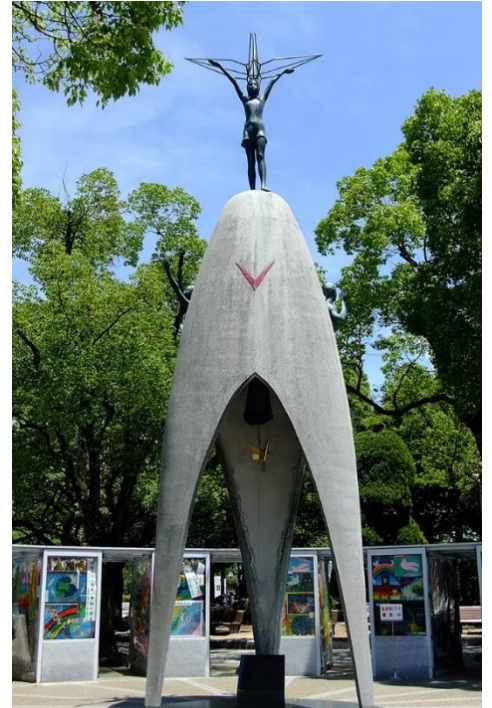
佐々木禎子さんは2歳の時、原爆が広島に落ち、被爆しました。その後、9年間元気に成長しましたが、小学6年の冬、白血病と診断されました。闘病中、お見舞いとして名古屋から千羽鶴が贈られたのをきっかけに、彼女は「生きたい」という願いを込め、折り鶴を折り始めました。しかしその願いもむなしく、体調は次第に悪化し、1955年10月25日、亜急性骨髄性白血病のため亡くなりました。

彼女は亡くなってしまいましたが、その思いはつながっていきます。彼女の死後、小学校のクラスの仲間たちから、禎子さんをはじめ、原爆の犠牲になった子どもたちの霊を慰め、平和を築くための像をつくろうという運動が始まり、全国からの募金で平和記念公園内に「原爆の子の像」が完成するのです。

それが右の写真です。さらにこの像にはこのように刻まれています。

「これはぼくらの叫びです　これは私たちの祈りです
世界に平和をきずくための」

やはり、この像を見て、「折り鶴を持った子どもの像があるなあ」で終わってほしくありません。少しでもこの像のことを知っていれば原爆が落ちた当時のことを、自分に置き換えたり、考えたりできるのではないのでしょうか。思いをはせるのもいいでしょう。



君たちは修学旅行で訪れた際に、この像の本物を見て何を思うのでしょうか？
また、像の周囲には屋根付きの折り鶴台(ブース)が整備され、日本国内だけではなく、世界中から千羽鶴が捧げられています。

ここを訪れたときには、少しでも平和を祈る時間になればいいなと私は思います。

【〇〇は〇〇から】

★最近気に入っている格言です。引用します。右側は自分の反省です。

「一日」は「早起」から	朝の時間は静かだし独り集中できる
「挨拶」は「自分」から	するかしないかを迷ったらするべきでしょ
「会話」は「傾聴」から	一番の反省点　話を最後まで聞ける人になりたいものです
「説明」は「結論」から	だらだらと結論なしの会議は意味がありません
「食事」は「野菜」から	好きなものから食べてしまっています　深い…
「自信」は「姿勢」から	最近前かがみになってきました
「知識」は「学習」から	学習したことは絶対に裏切りません　日々の積み重ね
「技術」は「模倣」から	見てまねることができる人は教えられるよりも成長がはやい
「努力」は「目標」から	小さな目標を日々の努力でクリアする　繰り返し
「結果」は「行動」から	買わない宝くじは当たらない　動き出せば可能性がでる

(柳瀬)